

2018年7月発行

山梨県 桃の会

HP : <http://momonokai.org/> E-mail : meri-sannokuni@softbank.ne.jp

会報第46号

あの人も この人も

自分という味を整えるための

スパイス

この出会いも時間も

無駄なものはないんだ

「自分を知ること」に向かって一步一步

深—い味わいのある自分になるための

スパイス



出会う、つながる、わかちあう

KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部

7 月月例会

「扉の向こうへ」の取材連載を終えて

〈講演者〉 前島文彦氏

プロフィール 山梨日日新聞地域報道部デスク。

企画報道グループでひきこもりを考える企画「扉の向こうへ」を担当。



〈日 時〉 7 月 21 日(土)13:30～16:30

〈場 所〉 山梨県福祉プラザ 4F

〈参加費〉 一家族 1,000 円(当事者は無料)

〈内 容〉 2014 年 8 月 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会が、山梨日日新聞の協力を得て山梨県で初めてひきこもり家族・当事者の集まりを開催した。今でもあの熱気は忘れない。予想外の 100 名余りの人が集まり、今まで水面下でくすぶり続けていたものが一気に爆発したような雰囲気だった。その後、家族会(KHJ 山梨支部・桃の会)が出来て活動を始めるが、暗中模索の中、山梨日日新聞の連載「扉の向こうへ」は私たちの活動の背中を押し続けてくれたように思う。その中心となって、全国各地を取材し、多くの家族、支援者、行政の方々の思いを一年間にわたる連載で発信し続けて頂いた前島文彦さんに今回ひきこもり問題を深く取り上げようとした経緯や思い、「ひきこもり問題」へのこれからの方向性なども含めてお話を伺いたいと思います。

《当事者スペース》

〈日 時〉7 月 21 日(土)13:30～16:30 パソコン室

この広い世界のどこかに
ホクヒ同じような
君がいた
ってことだね



【7 月のミニグループトーク】

〈日 時〉 7 月 29 日(日) 10:00～12:00

山梨県福祉プラザ 4F

例会とは違った集い、気晴らしのつもりでお出かけ下さい。

●参加費は 500 円です。(当事者は無料)



★コラム

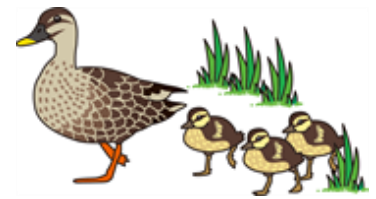
こけしという言葉 山田孝明

子供の頃に感じていた不思議な言葉がある。それは保育園でみんなと遊んだゲームの中にあつた。「はないちもんめ」「かごめ」という童歌(わらべうた)だつた。意味もわからず楽しく遊んだものだ。小学校の高学年になつたとき「こけし」という言葉にも興味をもつた。ひらがなで書かかれていたので、覚えてこの漢字をあててみた。「こけし」=「子消し」としたときのほくの驚きはすごかつた。貧しい地方の子が産まれたけど育てられない、間引きを竟(ついに)果(な)してつた。手も足もなく人の形をしてないから人形と言わなかつたのだ。小さいこけしから大きな

こけしも、もし大きく育つたかと思つて悲しい人々の声が開(ひら)いてくるおた。「はないちもんめ」もよく考(かん)へるといちもんめはお金の単位だ。はな=花代(はなしろ)といつて女性をかうときの符号だ。人買(ひとかひ)の歌だつた。一番上のお姉ちゃんが売(う)られていくときの風景がこの歌からわかる。「かごめ」はかご^女とするとかごの中にははらこ^女といふ女性と考(かん)へれば昔の遊(あそ)ぶ部(ぶ)はとりかごのように見える。いついつでーある、もうでられないことを歌が教(し)えてくれるようだ。歴史(れきし)は言(こと)を述(た)せられない民衆(たみしゆ)の悲(かな)しみは子供の童歌(わらべうた)で伝(つた)へられてつたのだ。

桃の会スーパーバイカー





「親よ、頑張れ！」

何

故一歩が踏み出せないのか。どこがどの様に間違えていたのか。多くの親はいつも考え続けているのではないかと。考えても、考えても頭の中を思考が堂々巡りするばかりで、出口は見えない。

親としての自分を責め、周囲の言葉に傷ついたり引け目を感じ敏感になったり、不安や焦りの中で言い知れぬ無力感を感じる。立ち足はかかる壁は自分一人ではどうにも出来ない。

そういう時は勇気を出して助けを求めるしかない。恥ずかしいことでも迷惑でもない。「生きる」ということは誰かしらに迷惑をかけているという事ではないだろうか

人類は長い長い歴史の中で、お互いに支え合い助け合うからこそここまで命を繋いでこれたのだろう。研究によるとそれは人間の本能であるらしい。

しかし今私達はその本能に度々逆らって生きようとしていないだろうか。孤立し自己中心的になり、辛く悲しい事件が連続している。その多くは家族、当事者が孤立した、状態で起きている。

私達はみんな不完全な存在である。だから足りない部分を補い合い繋がることは新たに「自分を知る」一歩であり「他」を知る一歩でもある。

人と繋がる 助けを求めるそれが堂々巡りの思考に気付きを与えてくれるのではないかと思う。だから元気を出してもう一度立ち上がってみよう！

親子の出会いも相互に学び合う為の貴重な出会いであると私は思っている。

(M・hiroko)

桃の会は自助会です！
一人一人の力の結集が会を継続する力、
みなさんの力をいつも必要としています！！

〔桃の会今後の予定 2018年(H30)
*月例会 8月19日(日)13:30~16:30
*ミニグループトーク 8月25日(土)10:00~12:00
山梨県福祉プラザ〕



お問い合わせ
TEL/FAX/☎
0554-66-4073
090-6190-8677
桃の会事務局

みくさのみたから

- ◆ストレスなどで凝り固まった心身を解放するワークです。
◎日時 7月5日(木)13:30~17:00
◎場所 龍華院本堂
- ◆お問い合わせ=055-243-0261(相良農園)
(貸農園もあります)

すみれ会

- ◇月例会 7月21日(土)13:30~15:30
場所:すみれ会事務所
- ◇お問い合わせ=090-54168748(清水)